

香退連ニユース号外

日本退職者連合は、二〇〇九年に「男女平等参画推進委員会」を設立し、学習会の開催や、「低所得高齢単身女性問題に関する政策制度要求」を策定し、省庁、政党要請などを行ってきた。二〇一七年には「男女平等参画推進委員会」と名称変更し、さらに取り組みの強化を図っている。しかし、二〇一八年度組織実態調査の結果、女性会員数は、約78万人のうちの19・5%にとどまっていることが明らかになった。さまざまな場面で男女平等参画の重要性がいわれながら、遅々として進まない最大の要因がここにあることも明らかになった。そのため、日本退職者連合第二二回定期総会は、女性会員の積極的な加入促進と各級機関への参加促進を掲げた。これを受けて第一回男女平等参画推進委員会(二〇一九年七月二五日)で、具体的な取り組みの一つ

として、つぎの通り実施することを確認した。

香退連男女平等参画推進委員会

- 1、「女性の集い」を開催し、その中で香退連男女平等参画委員会の設立大会でこれからの活動を始めてまいります。
- 2、日本退職者連合初代女性事務局長野田那智子さんに講演をお願いしました。
- 3、十一月二十九日(金)十時より、「香川県社会福祉総合センター」の第二中会議室で行います。
- 4、参加要請は各単会に男女要請します。
- 5、旅費については、各単会の協力をお願いします。
- 6、出し物は、大谷さん・山西さんをお願いをする。
- 7、今後の女性の意見・要望・参加については、香退連幹事会に顧問・副会長を参加して頂き意見反映します。(年間3回程度)
- 8、各組織には、参加要請を行います。



講演する野田事務局長



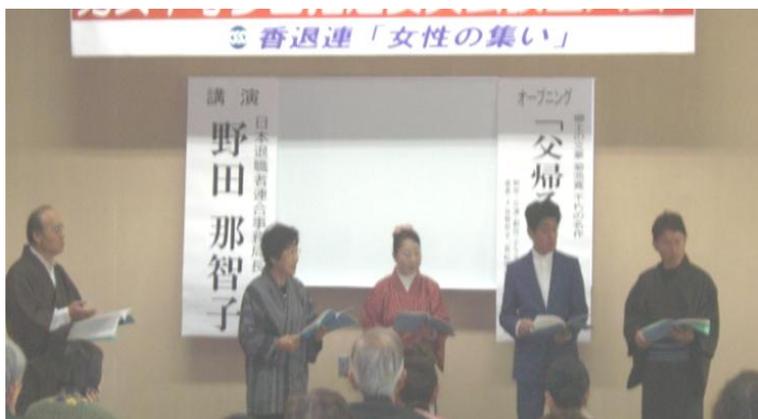
県社会福祉総合センターの様



(参加者の風景)



女性の集い参加者
68名—女性・38名
男性・30名



村尾さん・大谷さん・長尾さん・田中さん・水野さん

オープニング
「父帰る」菊池寛の名作を朗読劇。
大谷智勢子さん劇団サロンの団長であり、高松市役所職員退職者会の会長でもあります。この朗読劇では、目頭を押さえる人もいました。

この会を立ち上げるまでに、三年かかりました。香退連の事務局長様の方よりお話があり、「石塚さんと私し大谷」に女性の参加する会議を作りたいとのお話で三年かかりました。香退連では、男女平等と云う目標に向かって、男女が共同で役割分担していく、真の男女平等参画の推進を行っています。まだまだ日本は、世界的に見ても男性と女性との間に様々な格差があります。OECDが実施した世界ジェンダーギャップ指数は149カ国中110位という下位グループです。いつの世代でも男性優位の社会、人生100年時代、今からでも遅くないです。まずは意識改革より始めましょう。本日は有難うございます。



男女平等参画推進委員会の就任挨拶をする大谷会長

核兵器廃絶1000
万名反対署名・第2
次集約2月末日です